

花見川の環境を守る会

花見川を、ゴミのない、きれいな水と緑の水辺に戻し、
次の世代に引き継ぎましょう。

を合言葉に、主に**千葉市の管理対象地**で次の活動を行っています。

- 1.サイクリングコース周辺のゴミの回収
- 2.花見川の水質調査
- 3.サイクリングコース周辺の植物の管理

1.サイクリングコース周辺のゴミの回収

行楽後の放置ゴミ、不法投棄された大型ゴミなどの回収を行っています。

活動日：毎月第2日曜日 7:00～8:30

- ★ 活動を始めた20年前は、粗大ごみがあちこちに山積し、活動ごとに4トントラック数台で回収していました。
- ★ 今では、ゴミがゴミを呼ぶ悪循環が改善され、45リットルのゴミ袋数個程度に。会員の中では、『少なくて物足りない』などという軽口が出ることも。



2.花見川の水質調査

千葉市からの委嘱を受け、水辺環境保全推進員（水辺サポーター）として花見川の水の水質調査を行っています。

活動日：毎月第1日曜日 9:00～10:30

★ ステンレス製のバケツで川の水を汲み→パックテストをはじめとする器具・試薬を使用して計測→結果をまとめ報告します。

< 水質調査 >		実施日：7月7日 (日)		天気：曇り時々雨	
		項目	汐留橋	亥鼻橋	花島橋汚水
1	時刻	10:40	10:10	9:20	9:40
2	天候	小雨	雨	小雨	小雨
3	外気温度 (°C)	20.5	20.0	20.0	20.0
4	水温 (°C)	21.5	21.5	20.5	21.0
5	透視度 (cm)	50.0	50.0	50.0	50.0
6	水の濁り	ナシ	ナシ	少しアリ	ナシ
7	水の臭気	ナシ	ナシ	土臭	ナシ
8	COD	5	10	10	5
9	PH	7.5	7.5	7.0	7.0
10	アンモニアイオン	0.5	0.5	1.0	0.2
11	亜硝酸 (NO ₂)	0.2	0.2	1.0	0.20
12	亜硝酸態窒素	0.060	0.060	0.300	0.060
13	硝酸 (NO ₃)	10	10	45	10
14	硝酸態窒素	2.30	2.30	10.00	2.30



3.サイクリングコース周辺の植物の管理

サイクリングコース沿いに植えられた植物の剪定など安全と美観を保つための管理を行っています。

活動日：毎月第1日曜日	10:30～12:00
毎月第3土曜日	9:00～12:00
毎週水曜日	9:00～12:00
毎週金曜日	9:00～12:00



★ 道端の低木の植え込みのはずが…。放置された結果2mを超える中高木に。小さい子供が自転車から見えず、危険な状態であった。

※ 活動の価値を金額として見える化すると

★ 2019年度活動実績約500人時を外部委託したとすると

500人時 × 3,000円／人時 = 1,500,000円

各個人が納税する市民税以外に会としてこの金額をふるさと納税として物納した。ふるさと納税の返礼金が一般的に30%であるので、千葉市から450,000円の寄付があって不思議がない。

★ 放置された植栽が原因で幼い子供が死亡したり／一生障害を抱えたら、1億円とも2億円ともいわれる賠償金は加害者と安全管理義務を怠った千葉市の双方に請求される。今まで市が放置してきたこのリスクを、当会の活動が事故防止を実現することで回避している。

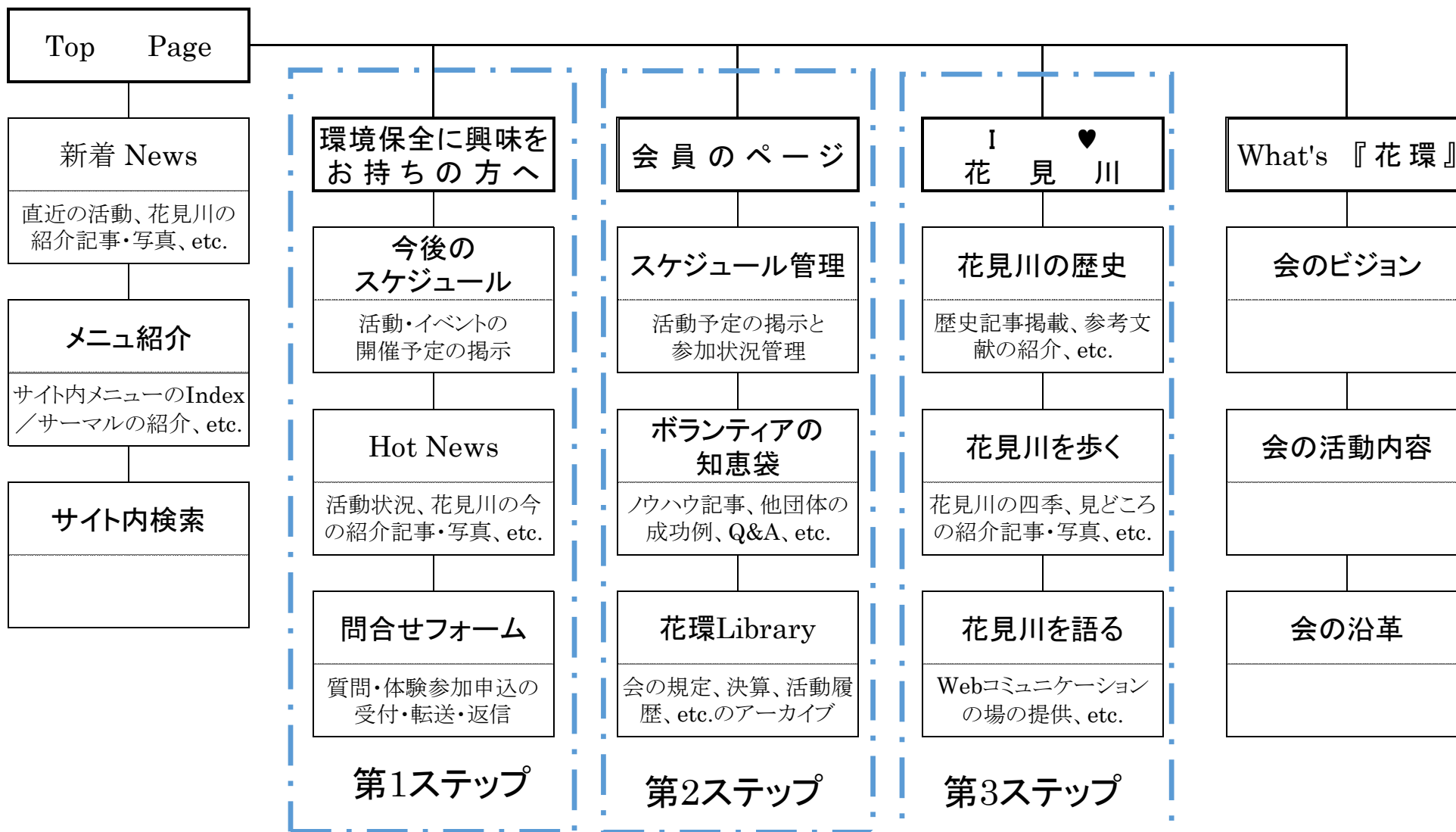
※ なぜHome Page構築の申請なのか

- ★ 日々の活動経費、イベント費用などの補助を受けても会の自立／活性化にはつながらない。会員の継続的な獲得、知識・スキルの向上を実現するためのシステム・設備の導入こそ持続性の担保につながる。
- ★ 昨年度、活動場所(5か所)、駅(4か所)、公民館(10か所)、自治会(11か所)への掲示、マッチングプログラムへの参加などを行ったが、これら **PUSH型広報**では会員候補者にアプローチできなかった。
- ★ ターゲット世代が当たり前に使っている**POP型メディア**に対応することにより、低ランニングコストで、高い確度で、環境ボランティア活動に興味のある会員候補者を獲得できる可能性が生まれる。

※ 当該Home Pageに求める機能(添付企画資料参照)

- ★ 同種他ボランティア団体より優位に立つためには、より多様なワード検索に対応でき、かつ検索結果のより上位に表示させるというSEOが必須となる。これは素人にで来ることではなく、外注先のノウハウに大きく依存する。
- ★ 規模は比べるべくもないが大学のホームページライクの、各ステークホルダーに対応してそれぞれにメニュー・コンテンツが特化され、探しやすく・見やすくホームページであることを目標とする。時々で情報で遊ぶだけのFacebookライクのものでは役に立たない。
- ★ フレーム構造が、フレキシブルかつコンテンツの追加・更新が容易であること。ホームページのメンテナンスに知識・技能が求められると担当者が限られ、随時性が失われやすく、最終的に死んだホームページとなりやすい。これも製作外注する大きな理由である。

※ 花見川の環境を守る会 Home Page 企画案



※ 花見川の環境を守る会 Home Page 企画案

- 第1ステップとして、①今後のスケジュール（活動・イベントの開催予定の掲示）、②Hot News（活動状況、花見川の今の紹介記事・写真、etc.）、③問合せフォーム（質問・体験参加申込の受付・転送・返信）の各ページを備えた地域住民向けメニュー『環境保全に興味をお持ちの方へ』を開設する。
- これにより、地域住民へ環境保全活動の意義の啓蒙を行い、併せて当会活動への体験参加から入会を促進する。
- 第2ステップとして、①スケジュール管理（活動予定の掲示と参加状況管理）、②ボランティアの知恵袋（ノウハウ記事、他団体の成功例、Q&A、etc.）、③花環Library（会の規定、決算、活動履歴、etc.のアーカイブ）の各ページを備えた会員向けメニュー『会員のページ』を開設する。
- これにより、新規加入者を含む会員の、参加スケジュールの把握による活動・作業の効率化、会員の知識・スキルの向上、会員間での情報の共有・オープン化を実現する。
- 第3ステップとして、①花見川の歴史（歴史記事掲載、参考文献の紹介、etc.）、②花見川を歩く（花見川の四季、見どころの紹介記事・写真、etc.）、③花見川を語る（Webコミュニケーションの場の提供、etc.）の各ページを備えた花見川のPRメニュー『I ♥ 花見川』を開設する。
- これにより、地域の生活・自然環境としての『花見川』の魅力を再発見・創造・発信し、地域住民の愛着を醸造する。

一度、私たちと一緒にボランティア活動を試してみませんか？

体験参加を希望される方、大歓迎です。

ご清聴ありがとうございました